



# 松庵防災ニュース

回覧

第4号 2022年10月発行  
松庵町会防災会

## ～災害時には「在宅避難」～

地震発生時は、従来の身の安全確保と火の始末後の「避難所への避難」から、自宅の安全が確保され居住の継続が可能な場合は「在宅での避難」へという形に変化しつつあります。少しでも快適な在宅避難ができるように日ごろからの備え(自助)は大切です。

## 地震が発生した時にトイレの備えはできていますか？

### まずは災害用トイレの備蓄、その時いくつ必要？

地震が発生すると下水管や建物の中の排水管は壊れていたり、破裂している事があり、正常確認ができるまでトイレが使えなくなります。地震発生時に一番簡単に使用できるのは災害用のトイレです。多くの商品は排泄するためのビニール袋、排泄物を固める凝固剤、ビニールの口を閉じるゴムなどがワンセットになっています。一回ごとに使用後は袋の口を縛り密閉した上で大きなビニール袋にまとめておきます。では、いくつ準備しておけばいいのでしょうか？

一般的に一日に7回、一週間分の備蓄が必要と言われます。4人家族の場合は7回×7日×4人分=196 196回分が目安となります。

### 今、家にある物でできる対処方法

災害用トイレの準備がなく、地震に遭ってしまった場合はどうすればいいのでしょうか？

排泄物は大便、小便を混ぜるとメタンガスが発生し、強烈な腐敗臭が出たり、袋が破裂して汚物が飛び散り大変なことになるので混ぜない事が大切です。

小便はペットボトルに入れて保管する。

大便は便座に大判ビニール袋を被せその上に、くしゃくしゃにした新聞紙を被せる、更にもう一枚大判ビニールを被せてそこに直接排便します。用を足した後は粉石けんや重曹などがあれば便の上に撒き新聞紙やトイレトペーパーをかぶせる。数回使用したら上のビニールのみ交換する。

小便、大便とも直射日光が当たらない場所で保管する。

### こんな方法もある

意外な物が役立つこともあります。例えばペット用のトイレシートや猫砂などは吸水素材が使われているので代用できます。大人用のオムツも長時間トイレに行けない時などは役に立ちます。

消臭効果があるビニール袋は100円ショップで購入することができます。

### ★ 町会ホームページ

<https://member.sugi-chiiki.com/shouan-choukai>

発行責任者 松庵町会防災会会長 奥田義郎

